



# 学校だより

令和8年度 7月号

学校 HP <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/katsuradai/index.cfm>

横浜市立 桂台 小学校  
学校長 今井 健二

横浜市栄区桂台南1-1-1



TEL 891-8000

## 校長室から見える風景

校長 今井 健二

校長室の窓から外を見渡すと、校庭で生き生きと体育の学習に取り組む子どもたちの姿が目に飛び込んできます。休み時間になると、友達と誘い合って遊ぶ子どもたちの元気な声が校庭いっぱいに広がります。学級や学年を越えて関わり合う姿や、夢中になって体を動かす姿からは、学校生活を楽しんでいる様子が伝わってきます。

体育の学習では、これまでに中・高学年が短距離走やリレー、ハードル走などの運動、低学年が走の遊びに取り組んでいる様子が見られました。それぞれの学習に真剣に取り組む中、印象に残っているのはリレーの学習の一場面です。子どもたちは、ただ走るだけではなく、より速くバトンをつなぐためにバトンパスの練習を繰り返したり、チームで作戦を考えたりしながら学習を進めていました。「どこで加速するか」「誰がどの順番で走るか」など、互いのよさを生かそうと話し合っていました。また、自分のチームのランナーに大きな声援を送り、走り終わった子どもたちがゴール前に集まって最後まで仲間を応援する姿には、目標に向かって仲間と力を合わせる大切さや、最後までやり抜こうとするひたむきさが感じられました。

体育の学習は、単に運動技能を身に付けるだけでなく、自分なりの目標をもち課題の解決に向けて工夫したり仲間と協力したりしながら学ぶことを通して、心と体の両面を育てる大切な学習です。子どもたちは日々の学習の中で、挑戦することの楽しさや仲間と学ぶ喜びを味わっています。

6月からは水泳の学習も始まり、どの学年でも水に親しみながら活動しています。水泳は水の浮力を利用して行う運動で、水の中で体が浮く感覚や水をかいて進む感覚など、陸上では味わうことのできない独特の体験ができます。学校教育における水泳学習は、もともと水難事故などの際に自分の命を守る力を身に付けることを目的として始まりました。そのため、水に慣れ親しみ、浮く・潜る・泳ぐといった水中での運動感覚を養うことは大変重要です。同時に、水泳学習を通して「水の中で活動することは楽しい」と感じる経験をたくさん積んでほしいと思います。楽しさを感じながら学ぶことは、新しいことに挑戦する意欲や、自ら学びを深めようとする力につながります。

これからも本校では、子どもたちが「学ぶことは楽しい」と実感し、自ら課題を見つけ仲間と関わりながら学びを創り出していけるよう、工夫しながら教育活動に取り組んでまいります。